

2025年度 授業シラバス

FC TOKYO

授業名		発声・滑舌				開講区分	前期	後期	通年
学科・専攻		映画俳優科				昼間一部			
必修選択	必修	年次	I	担当講師	高島田薫先生	講師略歴	テーマパーク「志摩スペイン村」にてミュージカルショー、イベントMC等で出演ののち劇団四季45周年記念オーディションに合格入団。『ライオンキング』シェンジ役、『CATS』ジェニエニドッツ役、『赤毛のアン』ブルーエット夫人役、『美女と野獣』等、メインキャストとして出演。また出演者・研究生の指導も勤める。退団後はフリーでミュージカルやライブに出演。後進の指導も行う。出身地兵庫県を中心に関西でのライブ、福祉施設などでの演奏活動も開始。ミュージカルを始め、ラテン、JAZZ等様々なジャンルを歌いこなし、その透明感のある声は観る人聴く人を魅了している		
授業形態	実習	総時間(単位)	60						

【授業の学習内容】					
・先ずは挨拶・礼儀作法の徹底 ・俳優にとって必要不可欠な呼吸法(腹式呼吸)、開口発声という基本的なことを徹底的に習得 ・筋肉トレーニングも同時に行い、更にアプローチしていく。 ・毎日続けることで、なぜ必要なのか、どこを鍛えているのか、どのように変化していくのかを実感する。					
【前期:到達目標】			【後期:到達目標】		
腹式呼吸を完全に身体と頭に覚え込ませ、コントロール出来るようになる。 客観的に自分の発している言葉を聞き、判断、修正する。 毎日続けることで、休日にあっても同じ、その時の最善を目指す。			腹式呼吸を完全に身体と頭に覚え込ませ、コントロール出来るようになる。 客観的に自分の発している言葉を聞き、判断、修正する。 毎日続けることで、休日にあっても同じ、その時の最善を目指す。		

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
1	呼吸法の理解		1	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)	
2	呼吸法・開口発声の理解		2	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)	
3	呼吸法・開口発声の理解		3	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)	
4	呼吸法・開口発声の実践(50音あめんぼの追加)		4	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)	
5	呼吸法・開口発声の実践(50音あめんぼの追加)		5	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)	
6	呼吸法・開口発声の実践(50音あめんぼの追加)		6	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)	
7	呼吸法・開口発声の実践(50音あめんぼの追加)		7	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)	
8	呼吸法・開口発声の実践(あめんぼの暗記)		8	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)	
9	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)		9	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)	
10	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)		10	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)	
11	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)		11	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加、外郎売り)	
12	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)		12	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加、外郎売り)	
13	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)		13	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加、外郎売り)	
14	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)		14	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加、外郎売り)	
15	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加等)		15	呼吸法・開口発声の実践(早口言葉追加、外郎売り)	
評価方法	出席率80% 授業姿勢20%		評価方法	出席率80% 授業姿勢20%	
準備学習 時間外学習			使用教科書 教材 参考書		

2025年度 授業シラバス

FC TOKYO

授業名		英会話				開講区分	前期	後期	通年
学科・専攻		映画俳優科				昼間一部			
必修選択	必修	年次	1	担当講師	シカ先生	講師略歴 関西学院大学社会学部卒業。通訳・翻訳者養成校インタースクールを経てフリーランスの通訳者、翻訳者に。米国ロサンゼルスで俳優活動後、東京俳優・映画&放送専門学校勤務。 2020年にフロリダ州認可単科大学Barbara Brennan School of Healingプロフェッショナルスタディーズ課程修了。現BHSブレナンヒーリングサイエンスプラクティショナー。			
授業形態	実習	総時間(単位)	120						
【授業の学習内容】 自分の意見を伝える英語力を学びます。									
【前期:到達目標】 適切な時制を使い、簡単な文章を話せるようになる。					【後期:到達目標】 自分の考えを相手に伝えることができるようになる。				

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
1	Introduce yourself (自己紹介) Subject-Verb		1	Proposal1(提案1)	
2	Daily Schedule (1日のスケジュール) Tense		2	Proposal1(提案2)	
3	Expression of nice,or like (いいね!) Emotional Expression		3	Request1(依頼1)	
4	Structure of English (英文の構造)SV/SVC/SOO/SVOC		4	Request1(依頼2)	
5	Pronunciation		5	How to state your opinion(5感表現など)	
6	Change words1(基本センテンスと置き換え)		6	Tips for speaking(話せる英語のプラスαのコツ3)	
7	Change words2(基本センテンスと置き換え)		7	How to proceed of the descission(ディスカッションの進め方)	
8	Change words3(基本センテンスと置き換え)		8	Discussion1	
9	Have		9	Discussion2	
10	Get		10	Discussion3	
11	Take		11	Discussion for the project1	
12	Review		12	Discussion for the project2	
13	疑問文1 5W 1H		13	Discussion for the project3	
14	疑問文2 5W 1Hのその他		14	Discussion for the project4	
15	Review		15	Discussion for the project5	
評価方法	積極性(30%)と出席率(70%)		評価方法	積極性(30%)と出席率(70%)	
準備学習 時間外学習	特に無し。 ※辞書または携帯、ノート必須です。		使用教科書 教材 参考書		

2025年度 授業シラバス

FC TOKYO

授業名		プレゼンテーション				開講 区分	前期	後期	通年
学科・専攻		映画俳優科				昼間一部			
必修 選択	必修	年次	I	担当講師	北見先生	講師 略歴	梶原涼晴師を支持しGROUP THEATREに所属。銀河劇場、東京芸術劇場シアターイーストなどで主演として舞台を踏む。2019年から約2年間、英語習得と演技の可能性を広げるため留学。帰国後、成井豊演出舞台「ナミヤ雑貨店の奇蹟」、内田英二監督映画「サイレントラブ」などに出演。舞台から映像まで幅広く活動し、現在に至る。		
授業 形態	実習	総時間 (単位)	120						
【授業の学習内容】									
リアリズム演技のアプローチを目指しますが、全てのジャンルに精通した基礎の強化を第一に考えた授業にします。 リラクスの徹底、シーンを使い実際に芝居を始める前にする準備の仕方、相手との会話のキャッチボール、舞台動作の基本等、その時の生徒の状態に応じて柔軟に教えていきたいと思 います。 殊に一年生なので、芝居の楽しさを渡すことを1番考えて実践していきます。									
【前期:到達目標】					【後期:到達目標】				
演技をする事への抵抗を無くし、楽しむこと。					リラックスして芝居をする身体の状態を作る(リラクゼーション) 相手に集中すること(レベテーション) 芝居をする空間感しっかりと作ること(セッティング)の取得。 その他、状況を見てシーンワークや即興も行う予定です。				

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
1	生徒個人のレベルを見るためのシーンワーク①		1	基礎練習(レベテーション)①	
2	生徒個人のレベルを見るためのシーンワーク②		2	基礎練習(レベテーション)②	
3	生徒個人のレベルを見るためのシーンワーク③		3	シーンワーク①	
4	基礎練習(リラクゼーション、レベテーション)①		4	シーンワーク②	
5	基礎練習(リラクゼーション、レベテーション)②		5	シーンワーク③	
6	基礎練習(即興を使ったエクササイズ)		6	基礎練習(センソリーワーク)①	
7	基礎練習(+5w、芝居の準備の仕方)		7	基礎練習(センソリーワーク)②	
8	シーンワーク①		8	基礎練習(センソリーワーク)③	
9	シーンワーク②		9	基礎練習(センソリーワーク)④	
10	基礎練習(+センソリーワーク・物)		10	基礎練習(+即興)①	
11	基礎練習(+センソリーワーク・場所)		11	基礎練習(+即興)②	
12	シーンワーク①		12	基礎練習(+即興)③	
13	シーンワーク②		13	シーンワーク①	
14	シーンワーク①		14	シーンワーク②	
15	シーンワーク①		15	シーンワーク③	
評価方法	毎回授業に参加すること。出席課題の練習をしっかりと授業外でしている。 出席率70% 実技30%			毎回授業に参加すること。出席課題の練習をしっかりと授業外でしている。 出席率70% 実技30%	
準備学習 時間外学習					